

桃山学院大学  
社会学論集

総目次

第1巻第1号—第17巻第2号

(1966年4月—1984年1月)

発刊の経緯

- 1966(昭和41)年4月, 社会学部設置, 同時に社会学会発足。そのもとに1968(昭和43)年12月, 創刊される。
- 創刊~1975(昭和50)年3月発行の第8巻第2号までは社会学会の発行, 同年4月総合研究所設置に伴い, それ以降の発行主体は社会学会から, 総合研究所にかわる。
- 第4巻第1号まではB5判, 第4巻第2号よりA5判となる。
- 通常年2回の発行。第3巻は合併号。第1巻は第1号のみ発行し, 第2号は発行していない。
- 記念号の発行は次の通り。

大学創立10周年記念論文集	第1巻第1号(創刊号)	1968(昭和43)年12月
小寺廉吉教授喜寿記念号	第3巻第1・2合併号	1970(昭和45)年3月
学院創立90周年記念論文集	第8巻第1号	1974(昭和49)年11月
大学創立20周年記念号	第13巻第1号	1979(昭和54)年12月

## 第1巻第1号 大学創立10周年記念論文集 1968(昭和43)年12月

## 論文

- 火山列島(硫黄列島)一日記と資料……………小寺 廉吉  
 ギリシャの内戦・1946—49……………勝部 元  
 —戦後国際政治史研究 その1—  
 労働社会学と労働科学との接点……………潮見 実  
 社会主義社会における社会学の現況……………二宮 哲雄  
 —第5回世界社会学会議の報告より—  
 産業化と伝統主義……………倉橋 重史  
 阪神大都市圏における住宅立地の諸問題……………杉本 尚次  
 非社会的社交性 —カントの社会哲学—……………浅田 宏  
 “深み”ということ —文化の概念を廻って—……………松井 博文  
 TV番組分類の方法……………山田 宗睦

## 第2巻第1号 1969(昭和44)年7月

## 論文

- 社会学と地理学との境界領域における若干の問題……………小寺 廉吉  
 ソローキンにおける愛の研究……………今崎 秀一  
 「社会的時間」にかんする諸問題……………倉橋 重史  
 —P. A. ソローキンの概念をめぐる—  
 労働市場の構造とその形成……………小川 登  
 人間の演技性 —カントを中心にして—……………浅田 宏

## 研究ノート

- 北上山地北部の村落と住居……………杉本 尚次

THE STUDY OF THE FILIPINO MARRIAGE  
 TALES—AS COMPARED WITH THE  
 JAPANESE TALES ……………TETSUO NINOMIYA

## 第2巻第2号 1969(昭和44)年12月

## 論説

- T. ウェブレンと社会学 ……………倉橋 重史  
 —テクノクラシーの思想にかんする学説史的問題—  
 人種的観点から見たアメリカの農場・農民……………二宮 哲雄

Kant の両性論 ..... 浅田 宏

**研究ノート**

労働力商品の特殊性について ..... 小川 登

組織論の一考察 ..... 奥林 康司

—個別資本説からする企業組織の研究方向—

**資料**

太平洋諸島における居住様式の研究資料 ..... 杉本 尚次

**第3巻第1・2合併号 小寺廉吉教授喜寿記念号 1970(昭和45)年3月**

献辞 ..... 勝部 元

**論説**

Kant の革命観 ..... 浅田 宏

愛についての社会学的研究 ..... 今崎 秀一

ギリシャの内戦・1946—49(その2) ..... 勝部 元

専門的技術者の社会学的分析にかんする問題 ..... 倉橋 重史

中小企業の原価計算(4) ..... 伊達 陽

黎明期のエキュメニカルムーブメントにおける

第1回ランベス会議の意義 ..... 藤間 繁義

アメリカにおける黒人会計士問題 ..... 中田 信正

College English and Ability Grouping ..... Yasuteru Otani

Asian Characteristics reflected in

Folktales in Turkey ..... Tetsuo Ninomiya

**研究ノート**

夏目漱石と社会学 ..... 潮見 実

住居(民家)と尺度 ..... 杉本 尚次

**特別寄稿**

私のつかのまの空間 ..... 小寺 廉吉

小寺廉吉教授略歴・著作目録

**第4巻第1号 1970(昭和45)年7月**

**論説**

社会統制論の成立について ..... 北川 紀男

生産性・分配率・物価と賃金 —所得政策に関連して—	小川	登
Kant における「所有」の法と道徳	浅田	宏
<b>研究ノート</b>		
最近中国(台湾)における農業共同化	二宮	哲雄
<b>特別寄稿</b>		
私のつかのまの空間(其二)	小寺	廉吉

#### 第4巻第2号 1970(昭和45)年12月

##### 論文

エリザベス朝時代における演劇理論	加藤	芳慶
—1. イタリア・ルネッサンス期における討論の素描—		
T. S. Eliot における疎外の問題	広岡	実

##### 研究ノート

マルクス主義の形成におけるフランス社会主義の位置	小川	登
—ブランキとマルクス主義—		
フィリピン農村における双系的社会体系	二宮	哲雄

#### 第5巻第1号 1971(昭和46)年7月

##### 論文

カントとマルクシズム	浅田	宏
What Can Be Done and What Can Not	Yasuteru Otani	
—On the “inefficiency” of English teaching in Japan—		

専門的技術者と組織の問題(上)	倉橋	重史
現代アメリカ文学における conformism と non-conformism	広岡	実

##### 研究ノート

ニュー・レフト・レビュー誌上における トロッキー評価をめぐる論争について	村山	高康
---	----	----

#### 第5巻第2号 1971(昭和46)年12月

##### 論文

賃労働の経済理論 —労働経済論の研究(1)—	小川	登
専門的技術者と組織の問題(中)	倉橋	重史

研究ノート

現代家族変動論に関する若干の覚え書……………野々山久也

第6巻第1号 1972(昭和47)年7月

論文

カントの政治思想……………浅田 宏

工場と労働の経済理論 —労働経済論の研究(4)—……………小川 登

行動状況に関する一考察……………北川 紀男

専門技術者と組織の問題(下)……………倉橋 重史

第6巻第2号 1972(昭和47)年12月

論文

カントにおける「自然法」思想……………浅田 宏

労働組合の経済理論(1) —労働経済論の研究(8)—……………小川 登

EC通貨統合をめぐる諸問題……………野村 昭夫

研究ノート

文化財保存をめぐる二～三の問題……………杉本 尚次

第7巻第1号 1973(昭和48)年7月

論文

国際通貨体制の崩壊とその意義……………野村 昭夫

コミュニオン論の前提 —マルクス・エンゲルスの著作から—……………村山 高康

研究ノート

大阪府の民間信仰……………杉本 尚次

第7巻第2号 1973(昭和48)年12月

論文

ルソーの「社会契約」の論理……………岩津 洋二

労働組合と福祉問題(I)……………小川 登

歴史的コミュニオン—コミュニオン論の前提(II)—……………村山 高康

研究ノート

心身障害者に係わる「道連れ自殺」について(I)……………飯塚 進

**第8巻第1号 学院創立90周年記念論文集 1974(昭和49)年11月**

学院創立九十周年にあたって

…………… 桃山学院大学学長事務取扱 今崎 秀一

**論 文**

社会的空間の諸問題……………倉橋 重史

組織の発展, 変革, そして開発 —組織開発論の位置づけ—……………梅澤 正

コミュニティ・プレス —5年間の「移動」の検討—……………田村 紀雄

核家族化と老人問題 —考人福祉に関する一視角—……………野々山久也

**第8巻第2号 1975(昭和50)年3月****論 文**

蚕糸業と地域社会……………倉橋 重史

西サモア村落の変化~1965—1974~……………杉本 尚次

組織風土の変革に関する実証的研究……………足立 明久

—組織開発の実践的論拠を求めて—

Social Work 理論における役割概念の展開……………野々山久也

—R. ラドックを中心にして—

**第9巻第1号 1975(昭和50)年11月****論 文**

フィリピンの村落共同体とその生活意識(その1)……………村上 公敏

現代職業労働の基本的枠組……………梅澤 正

ケースワークにおける精神分析の発展……………黒川 昭登

**第9巻第2号 1976(昭和51)年3月****論 文**

近世後期における羣心の畸愁と所在……………生瀬 克己

フィリピンの村落共同体とその生活意識(その2)……………村上 公敏

—中部ルソン・タルラックの実態調査から—

**資 料**本学学生の保健教育としての貧血の調査……………中元 藤茂  
長谷川修一郎

第10巻第1号 1976(昭和51)年10月

論文

- 現代家族と子供の社会化……………野々山久也  
 近世琉球の遭難漂流記録をめぐる諸問題……………池野 茂  
 梅毒と最近の検査法 —社会教育の見地から—……………中元 藤茂

第10巻第2号 1977(昭和52)年3月

論文

- 社会的技術の問題……………倉橋 重史  
 —K. マンハイムの社会的技術論を中心として—  
 EEC における企業の国際的集中をめぐる諸問題 ……野村 昭夫  
 修験道研究序説……………沼田 健哉

第11巻第1号 1977(昭和52)年9月

論文

- 労働と余暇の統合論的考察……………梅澤 正  
 萬朝報経営における「向上主義」とその限界……………有山 輝雄

研究ノート

- コミュニケーション論の課題……………加藤春恵子  
 —現代日本社会への—視角—

判例評釈

- 民事判例評釈……………林 錫璋  
 —公共財産について取得時助が成立する場合—

第11巻第2号 1978(昭和53)年3月

論文

- ホンネのホンネ考 —日本におけるその心理学的考察—……………足立 明久  
 修養団体の事例研究……………沼田 健哉

研究ノート

- 職業・就業構造の変動—昭和30年～昭和50年の動向—……………梅澤 正

第12巻第1号 1978(昭和53)年10月

論文

- 職務満足の心理学的研究(1)……………西川 一廉

- 医薬品流通の経済構造……………鈴木幾多郎  
 血圧と生活環境……………中元 藤茂

**第12巻第2号** 1979(昭和54)年2月

**論 文**

- 離島の過疎問題と住民の対応……………鳥越 皓之  
 社会的技術の一考察……………倉橋 重史

**研究ノート**

- 日本社会における階層制……………沼田 健哉

**第13巻第1号** 大学創立20周年記念号 1979(昭和54)月12月

- あいさつ……………学長 村田 恭雄  
 創立20周年を記念して……………社会学会会長 村上 公敏

**論 文**

- 集団の雰囲気とパーソナリティに関する実験的研究(I)……………足立 明久  
 理想団の研究(I)……………有山 輝雄  
 日本的経営の特質めぐる研究と論議—その現状と課題—……………梅澤 正  
 自主技術の開発について……………倉橋 重史  
 社会現象における数と規模……………高坂 健次

—P. Blau の社会構造論に関するノート(1)—

- 所謂正常血圧と血圧の管理……………中元 藤茂  
 ……中元素美子  
 職務満足の心理学的研究(3) —心理的風土と職務満足—……………西川 一廉  
 パーフェクトリバティー教団研究序説……………沼田 健哉  
 フィリピンにおける住民移動と統合・摩擦問題……………村上 公敏  
 —ダバオ周辺農村の調査より—

**資 料**

- 結婚カウンセリングの一事例……………野々山久也

**第13巻第2号** 1980(昭和55)年3月

**論 文**

- 集団の雰囲気とパーソナリティに関する実験的研究(2)……………足立 明久  
 —絶対的尺度による裏づけと雰囲気の評価・診断用スケールの作成及びその適用—  
 理想団の研究(II)……………有山 輝雄



マージナル・マンの問題……………倉橋 重史

**研究ノート**

霊友会の研究……………沼田 健哉

「江川問題」の新聞報道とその影響(上)……………水野 博介  
 —新聞の意見形成力を中心に—

**資料**

障害者福祉についての意識調査 —本学学生の場合—……………野々山久也

桃山学院大生の意識と行動……………水野 博介  
 —ギャング・サーベイ結果の報告—

**第14巻第1号** 1980(昭和55)年9月

**論文**

現代福祉政策の位相的位置づけ……………野々山久也  
 —四象限モデルの提案とその適用—

TECHNICAL EDUCATION IN JAPAN……………倉橋 重史

**研究ノート**

「活字離れ」論ノート……………水野 博介

**第14巻第2号** 1981(昭和56)年3月

**論文**

トカラ列島における<sup>かど</sup>門と一戸前……………鳥越 皓之

奈良県下感染症サーベイランスからの2～3の考察……………中元 藤茂  
 中元由美子

集団の雰囲気とパーソナリティに関する実験的研究(3)……………足立 明久  
 —スケールの適用と比較研究及び因子分析—

**資料**

『日本十進分類法新訂8版』における改訂事項(3)……………志保田 務  
 —同新訂7版関係事項との対照表—

**時論**

医学界の自浄作用……………中元 藤茂

**第15巻第1号** 1981(昭和56)年9月

**論文**

現代の組織現象と組織概念の多様化……………梅澤 正

マサチューセッツ工科大学の工科系教育について……………倉橋 重史  
—科学社会的分析—

階層帰属意識と階層構造……………高坂 健次

### 資料

階層帰属意識に関する調査結果……………高坂 健次

『日本十進分類法新訂 8 版』における改訂事項(6)……………志保田 務  
—同新訂 7 版関係事項との対照表—

## 第15巻第 2 号 1982(昭和57)年 1 月

### 論文

日本の心理的風土に関する Q 技法-団子分析と

測定用具の開発(1)：予備的研究……………足立 明久

沖縄系アメリカ人のライフ・ヒストリー(I)……………鳥越 皓之

### 研究ノート

マサチューセッツ工科大学 (MIT),

「国際問題研究所」の研究活動について……………倉橋 重史

道連れ自殺, 今昔……………飯塚 進

深層心理学と宗教……………沼田 健哉

## 第16巻第 1 号 1982(昭和57)年 7 月

### 論文

部落問題分析の基本的視点と雇用創出……………小川 登

—1つの経済学的アプローチ—

### 研究ノート

差別と偏見……………沼田 健哉

職務満足の心理学的研究(6)……………西川 一廉

—自由記述による分析の試み—

## 第16巻第 2 号 1983(昭和58)年 1 月

### 論文

アメリカ家族の研究—理念と現実—……………野々山久也

フロムの母子関係論……………沼田 健哉

### 研究ノート

高齢者の道連れ自殺をめぐって……………飯塚 進

近代デモクラシー成立に関する一試論……………村山 高康

**第17巻第1号** 1983(昭和58)年7月

**論文**

人間論のために(1)—生物学的人間論をめぐって—……………岩津 洋二

「流行」論……………沼田 健哉

アメリカ家族研究における相互作用的アプローチ……………野々山久也

**研究ノート**

「説得」の効果生成過程における「思考」の役割……………水野 博介

**第17巻第2号** 1984(昭和59)年1月

**論文**

文化の論理としてのアナロギア(上)……………山川 偉也

—ギリシア・ヨーロッパ的人間観のマトリクス—

再婚および再婚家族の組織化(上)……………野々山久也

—アメリカ家族の研究—

木炭の話……………倉橋 重史

蛇女房・目の玉型考……………鳥越 皓之

—琵琶湖総合開発問題とかかわらせて—

**判例評釈**

民事判例評釈……………林 錫璋